

東京交響楽団

2021年の瀬 特別コンサート



2021.12.25(土) 開演 14:30 (開場 13:30)

会場：ホクト文化ホール(長野県県民文化会館) 大ホール

入場料：一般 3,000円 高校生以下 1,000円【全席指定】



プログラム

R. シュトラウス：ホルン協奏曲第1番 変ホ長調 op.11
W.A. モーツァルト：オペラ『魔笛』より `序曲、
プッチーニ：オペラ『トスカ』より `歌に生き恋に生き、
ビゼー：オペラ『カルメン』より `ハバナラ、
ドニゼッティ：オペラ『愛の妙薬』より `人知れぬ涙、
W.A. モーツァルト：オペラ『魔笛』より `おいらは鳥刺し、ほか



出演

指揮：梅田 俊明
ホルン：田中 沙弥
ソプラノ：西本 真子
メゾソプラノ：金子 美香
テノール：糸賀 修平
バリトン：近藤 圭
管弦楽：東京交響楽団

プレイガイド

ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)

チケット専用ダイヤル ☎026-217-0003

※やむを得ぬ事情により、公演内容に変更が生じる場合がございますが、出演者、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんので予めご了承願います。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※駐車場に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※本公演は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ開催いたします。

主催：一般財団法人長野県文化振興事業団、公益財団法人日本交響楽振興財団

共催：信濃毎日新聞社、長野県、長野県教育委員会

協賛：ホクト株式会社

後援：一般社団法人長野音協、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送

【公演に関するお問い合わせ】ホクト文化ホール(長野県県民文化会館) ☎026-226-0008



競輪の補助事業

この演奏会は、競輪の補助を受けて開催します。

<https://jka-cycle.jp>



梅田 俊明〈指揮〉

1984年桐朋学園大学音楽学部卒業。86年同研究科修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。83、84年にはジャン・フルネ氏にも学ぶ。86年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し研鑽を積んだ。帰国後、日本センチュリー、仙台フィル、神奈川フィルの指揮者を歴任。NHK響、読売日響、東京都響、東響、日本フィル、新日本フィルを始め、国内主要オーケストラと長年にわたり共演を重ねている。2000年より仙台フィル常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み、06年3月までその任を務めた。06年には大ブームとなったドラマ『のだめカンタービレ』に演奏および指揮指導で参加し、注目を集めた。国内だけでなく96年には南西ドイツ・フィル、スロヴァキア・フィルの定期演奏会にも出演し、いずれも好評を博した。的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢で、オーケストラからの信頼が厚い。桐朋学園大学、東京藝術大学非常勤講師。



田中 沙弥〈ホルン〉

長野県飯田市出身。飯田風越高校、桐朋学園大学を卒業。ホルンを上原宏氏に師事。室内楽を亀井良信、神田寛明、吉永雅人、鷹羽弘明、斎木隆の各氏に師事。桐朋学園大学在学中、学内オーディション合格者による室内楽の夕べにソロと室内楽で出演。桐朋学園大学音楽学部管打楽器部門を首席で卒業。同学卒業演奏会、第89回読売新人演奏会、長野県新人演奏会に出演。2016年セイジ・オザワ松本フェスティバルに「青少年のためのオペラ」小澤征爾音楽塾オーケストラメンバーとして参加。2018年アルゲリッチ音楽祭に出演。ドイツにて、フロイディス・リー・ヴェクレ、プジェミスル・ヴォイタ、クリスチャン・フリードリヒ・ダルマン各氏のレッスンを受講。Nord Deutschland Horn Tagelにてフロイディス・リー・ヴェクレ氏のマスタークラスを受講。桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程Sクラスに在籍。富士山静岡交響楽団3.1番ホルン奏者。



西本 真子〈ソプラノ〉

武蔵野音楽大学卒業、同大学院院修了。第56回全日本学生音楽コンクール声楽部門グランプリ受賞、同時に都築音楽賞、日本放送協会賞を受賞。2012年フィリピン国立劇場および13年シンガポールリリックオペラにて「蝶々夫人」で国際デビュー。国内では、「ラ・トラヴィアータ」「ラ・ボエーム」「トスカ」「イル・トロヴァトーレ」「仮面舞踏会」「ナブッコ」「マクベス」「カルメン」等幅広いレパートリーを持ち、国内外で数多くの舞台で主演を務めている。また、08年LaboOpera絨毯座実験室vol.2「偽のアルレッキーノ」コロンビーナ、15年トム・ジョンソン「4音オペラ」ソプラノにてサントリー音楽財団佐治敬三賞を受賞。藤原歌劇団には、18年「ナヴァラの娘」（日本初演）アニタでデビューし、21年「フィガロの結婚」伯爵夫人を好演。22年「イル・トロヴァトーレ」にレオノーラで出演予定。日本オペラ協会には、21年「キジムナー時を翔ける」のミキでデビュー。その他、17年ウィーン楽友協会にて、国境なき合唱団10周年記念特別公演「第九」のソリストを務めヨーロッパデビューするなど、活躍の場を広げている注目のソプラノ。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。静岡県出身。



金子 美香〈メゾ・ソプラノ〉

東京音楽大学特別演奏家コース首席卒業、同大学院修了。ザルツブルグモーツァルト音楽院マスタークラス修了。二期会オペラ研修所マスタークラス修了。二期会「ワルキューレ」「オテロ」「魔笛」、日生劇場「ルサルカ」、新国立劇場「カルメン」等に出演し好評を博す。特にワーグナー作品には定評があり、オーチャードホール20周年ワーグナーガラコンサート、びわ湖ホール・神奈川県民ホール共同制作「ワルキューレ」シュヴェルトライテ、新国立劇場および東京・春・音楽祭「ラインの黄金」、びわ湖ホール「神々の黄昏」等に出演。2018年にはパイロイト音楽祭総監督/カトリーナ・ワーグナー氏からの直々のオファーにより、パイロイト音楽祭「ワルキューレ」グリムゲルデにて出演、話題をよんだ。コンサートでも全国各地のオーケストラと共演、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「合唱幻想曲」「第九」、メンデルスゾーン「エリア」、ヴェルディ「レクイエム」等のソリストを務めている。平成24年度山口県芸術文化振興奨励賞受賞。18年には日本歌曲を収録したCD「南天の花」をリリース、レコード芸術特選盤として高く評価された。二期会会員。



糸賀 修平〈テノール〉

武蔵野音楽大学卒業。同大学院および新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外研修員として渡伊、その後ロームミュージックファンデーション音楽在外研究生としてドイツにて研鑽を積む。第1回エンツォ・ソルデロ国際コンクールで入賞し、ロッシニ「セヴィリアの理髪師」よりアルマヴィーヴァ伯爵役を獲得。イタリア・クレーネオにおけるCultura del Mondo festivalにて同役を演じた。国内でも、新国立劇場「フィガロの結婚」ドン・クルツィオ、「ファルスタッフ」バルドルフォの他、プリテン作曲「ピーター・グライムズ」では、急速カヴァーキャストからボブ・ボウルズ役の代役を務め、好評を博した。ロームシアター「フィデリオ」ヤッキーノ、二期会「ダナエの愛」メルクール、「こうもり」アルフレード、C.ミョンファン指揮「蝶々夫人」ゴロー、近年では、オペラ夏の祭典「トゥーランドット」ボン、藤原歌劇団「ランスへの旅」騎士ベルフィオーレ、新国立劇場「カルメン」レメンダード等出演して高い評価を得ている。コンサートにおいても、ベートーヴェン「第九」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」などのソリストとして出演。2021年新国立劇場「蝶々夫人」ゴローで出演予定。二期会会員。



近藤 圭〈バリトン〉

国立音楽大学卒業、同大学院首席修了。新国立劇場オペラ研修所修了。ロームミュージックファンデーション奨学生としてドイツ・ハンブルクへ留学。ドイツを拠点として、ハイドン「四季」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等のほか、マラー没後100年を記念した演奏会に「さすらう若人の歌」で出演。国内では、二期会「ナクス島のアリアドネ」ハルレキン、同「タンホイザー」ピーテロルフ、新国立劇場「魔笛」パパゲーノ、小澤征爾音楽塾「カルメン」ダンカイロ、日生劇場「リア」フランス国王、同「ラ・ボエーム」ショナール、東京芸術劇場「ドン・ジョヴァンニ」マゼット、グランドオペラ共同制作「カルメン」モラレス等出演。2020年には新国立劇場「夏の夜の夢」ディミトリアスで急遽出演、続けて同鑑賞教室京都公演「魔笛」パパゲーノでも出演し共に好評を博した。また、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」等、コンサート・ソリストとしても活躍している。22年には新国立劇場「魔笛」パパゲーノで出演を予定しており、今最も注目を集めるバリトンである。長野市出身。二期会会員。

東京交響楽団〈管弦楽〉

1946年、東宝交響楽団として創立。51年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリーホール、ミュゼザ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開、教育プログラム「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」も注目されている。また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。海外公演もウィーン楽友協会をはじめ58都市78公演を行う。さらに「VRオーケストラ」や電子チケットの導入、日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サービス「TSO MUSIC&VIDEO SUBSCRIPTION」をスタートしたほか、2020年3月にニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会を約20万人が視聴し注目を集めるなど、ITへの取組みも音楽界をリードしている。音楽監督にジョンサン・ノット、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、正指揮者に原田慶太楼、名誉客演指揮者に大友直人、特別客演指揮者に飯森範親を擁する。公式サイト <http://tokyosymphony.jp/>